

研修 評価

研修名	高齢者の尊厳を支える看取り				
領 域	ケアする力を高める研修	会場	新潟県看護 研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅱ～Ⅳ） 募集数(80人)応募数(67人)参加数(66人)会員数(60人)非会員数(6人)				
日 時	令和6年6月26日（水曜日） 10：00～16：00				
ねらい（目標）	高齢者の特徴を理解し、人生の最終段階を迎える患者とその家族の意思決定支援や尊厳を支えるケアを学ぶ。				
講 師	平川 美紗子 新潟県立がんセンター新潟病院 がん看護専門看護師				
内容・方法	○講義内容 ・老いることの意味と老衰死及び終末期の状態像の変化 ・全人的苦痛（身体・心理・社会的・スピリチュアル） ・アドバンス・ケア・プランニング（ACP） ・倫理的課題（意思決定支援の考え方） ○研修方法 講義及びグループワーク				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 66名 83% 【<u>達成</u>・未達成】 ○アンケート結果（回収率41%） ・理解度 96.3% 【<u>達成</u>・未達成】 ・自己課題の達成度 92.6% 【<u>達成</u>・未達成】 ○受講者の意見 ・今回の研修を受け、入所者の最期の時間をよりよいものにかえてけるように努力したいと思いました。 ・ACPの重要性は理解できたが、実際に看護師がどのように活用すれば良いか知りたかった。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【<u>研修会の目標は達成した</u>・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切であった。 ・アンケート結果：回収率は低かったが、肯定的意見が多かった。 ○総括 ・事前課題があり、グループワークは活発であった。				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				